

# NEWS

今回は特別号として、平成 29 年 7 月 31 日に大崎保健所で開催した平成 29 年度大崎地域がん治療に関する基礎研修会の様子をお伝えします。

## テーマ：がん診療と終末期ケア 一人一人の best を目指して

講師：大崎市民病院 腫瘍内科 大石隆之医師

- ・がんはどれくらい身近なのか？ 現在、日本人の 2 人に 1 人は何らかのがんを発症し、日本人の 3 人に 1 人は何らかのがんで死亡する時代となっている。（スライド 1）
- ・がん治療は“集学的治療（がんを抑える）”と“緩和支持療法（がんと付き合う）”がある。治療目標や治療の考え方は、がんの種類やステージ毎に異なり、治癒を目指すだけではない。がんが進行している場合、“病気と付き合いながら、患者さん自身の希望に沿った時間を過ごす”ことが目標となる。（スライド 2）
- ・昔は、生きる気力をなくすから等の理由で、家族や医師は病状や余命を知らせない方が良いと考え、患者さんに伝えないこともあった。しかし、厳しい話を伝えたり、病状を理解しても、うつや不安は増えないという研究結果が報告されており、現在は薬物療法を行う上で原則として告知している。告知をきちんとし、患者さんの希望通りの療養ができることが、患者さんも家族もより良い時間を過ごすことにつながる。（スライド 3）

～講話の中から抜粋～

### \* 研修会概要 \*

1. 「がん」はどれくらい身近なのか
2. がんの「診断」と「病期」と「治療」
3. がん治療の「目的」とは
4. 病状、余命を伝えるべきか
5. がんて亡くなる過程
6. 終わりに

### スライド 1

## がんの影響

- ・がん患者だけのものではない
- ・身体的なものだけではない
  - 精神的、社会的、経済的、スピリチュアル
- ・長期にわたって続く
  - 治療の進歩によりがんサバイバーが増加



### スライド 3

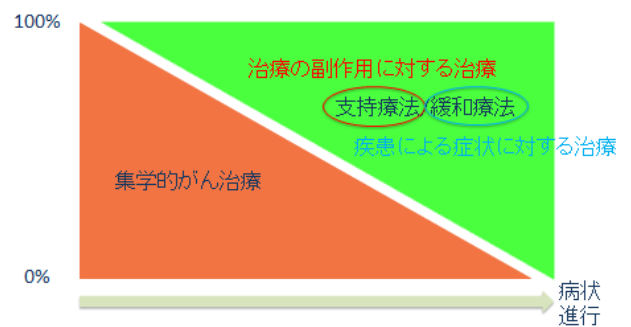
## 病状を理解しているとうつが増える？

- ・うつや不安は **増えない** という報告が大勢

		がんが治ると思っているか否か		
		Mean Score ± SD		
HADS 抑うつスコア	Variable	Curable Prognostic Perception	Not Curable Prognostic Perception	P <sup>a</sup>
不安症状	HADS Anxiety	3.48 ± 3.50	5.38 ± 3.41	.11
	抑うつ Depression	4.51 ± 3.69	5.40 ± 2.92	.37

### スライド 2

## 病状とがん治療



宮城県がん征臣イメージキャラクター  
グー子ちゃん & がん助

「質疑応答」

**Q. 抗がん剤による「しびれ」への対応をどのようにすればよいか**（薬局薬剤師）

A. しびれ（末梢神経障害）が慢性化してしまうと、症状を改善することが難しい。このため、症状を早期に発見し、対応（投与量変更や休薬等）を検討する必要がある。

**Q. 告知後等で患者さんが落ち込まれている際のケアについて**（医療機関理学療法士）

A. 告知後のケアをしないのは、手術後のケアをしないのと同様で、ケアすることが当然だと考えている。大崎市民病院のフォロー体制として、まずは医師から患者へのフォロー、次に看護師からのフォローがある。抑うつは時間で回復していくものも多いが、仮に動揺が大きく、受け止め切れていないと考えられる場合、臨床心理士の介入もある。また、治療介入が必要な場合にはメンタルケア科への紹介もある。

**Q. かかりつけ医で治療法が見つからない場合、腫瘍内科へ紹介してもらうことは可能か**（薬局薬剤師）

A. 紹介状があれば可能。また紹介受診された患者さんを東北大学病院等へセカンドオピニオンを依頼し、新しい治療法を検討してもらう場合もある。セカンドオピニオンは常に患者さんの選択肢としてあり、積極的に行うべきだと考える。

「保健所からの情報提供」

○大崎市民病院 がんサロンについて○

大崎市民病院 2 階にある『がんサロン』。大崎市民病院に通院されていない方でも利用可能で、がんに関するパンフレットやタオル帽子、ウィッグ等も多数展示してある他、がん経験者とのお話や相談といったピアカウンセリングも実施。また、患者さんだけでなく、ご家族や支援者も利用可能。詳細については、大崎市民病院のホームページをご覧ください。

○がん情報みやぎについて○

ホームページ上で、宮城県内のがんに関する情報を提供。患者さんや家族向けの情報の他、がんに関わる職種向けの情報や研修会等も随時更新・掲載。詳細については、がん情報みやぎのホームページをご覧ください。

○がん相談支援センターについて○

宮城県内には、がん相談支援センターが 21 箇所に設置され、入院や通院していない医療機関に設置されているセンターでも相談可能。また、医療機関以外にも、宮城県対がん協会内に『宮城県がん総合支援センター』が設置され、専門の職員が対応する。支援者さんも、何か相談したい事が出た場合、一人で抱え込まずに是非相談を!!